



まちづくりの水先案内人 なら・まちづくりコンシェルジュ

なら・まちづくりコンシェルジュ（以下コンシェルジュ）は、県の職員が地域の人と交流することにより、県民によるまちづくりを発掘・支援し、様々な魅力ある地域を創出することを目的として、平成19年7月に発足。事務局は奈良県土木部まちづくり推進局内に置かれている。

コンシェルジュは、ホテルにおいて、客の要望に応じて観光の手配や案内などを行うスタッフ。転じて、特定の分野や地域情報などを紹介・案内する人をいう。

コンシェルジュは、組織としてではなく個人に任命されており、部署を異動しても、継続的にまちづくりをサポートできるのが特徴で、現在11名が活動している。

平日夜や土日など勤務時間外も、まちづくり活動現場を積極的に訪問し、県内外の先進地活動事例、国・県の助成制度の紹介など、地域に合った情報を横断的に幅広く提供している。

コンシェルジュが各地区を訪問すると、最初に各団体のニーズ、活動状況のヒアリングなどを行う。地元のまちづくり活動及び地域資源の発掘・発信等の推進を目的としてコンシェルジュと各団体の協働による「まちづくりマップ」（地域の名所の写真・説明、地域の歴史や由来などを記載）作りや、まち歩きイベントなども行っている。

■コンシェルジュが支援した主な活動実績

●県の「町家等地域資源発掘・発信事業」利用例

同事業は大学等の専門家の協力を得て、町家や歴史的構造物などの地域資源を活かしたまちづくりを推進する団体の取組をサポートする事業。今年度選定された田原本町の団体は町家の再生とまちなみ保存を目指しており、コンシェルジュのすすめで応募し奈良女子大学の協力のもと町家外観の調査等を行っている。

●県の「まちづくり拠点整備推進事業」利用例

桜井市初瀬地区の団体は、駅から長谷寺に至る参道に、参拝客が一休みできる休憩所の整備を検討しており、「まちづくり拠点整備推進事業」に応募することとした。

この事業は、奈良県が財団法人民間都市開発推進機構の「住民参加型まちづくり支援ファンド」を活用し行うもので、歴史的な街なみ地区において、地域のまちづくり拠点施設整備に資金拠出する「まちづくり拠点整備ファンド」づくりに資金支援するもの。

同団体はこの支援と住民の出資、市・県の支援を得てファンドを造り、この資金により空家を改修し、観光・参拝客のための休憩所の整備などを目指している

同じく、高取町土佐の町家をギャラリーに改修する事業でもコンシェルジュが高取の団体に「まちづくり拠点整備ファンド」を紹介し、実現させた。

●県の「町家を活用したまちづくり」の活動

五條市新町地区の団体は江戸期からの町家の活用を望んでいた。コンシェルジュは、活用提案や改修図面に対するアドバイスをした上で、資金計画、整備方策に関する意見交換を行った。

その他、コンシェルジュの活動実績は、奈良市、大和郡山市、橿原市、桜井市、葛城市、御所市、五條市、明日香村など全部で24か所に及んでおり、事務局ではまちづくりに関心のある団体等に相談を呼びかけている。（上田 祥博）

連絡先：奈良県土木部まちづくり推進局
地域デザイン推進課 民間活動推進係
〒630-8501 奈良市登大路町30
TEL：0742-27-5433
まちづくりマップ URL：
http://www.pref.nara.jp/dd_aspx_menuid-9878.htm



コンシェルジュと協働で「まちづくりマップ」を作成する初瀬地区のみなさん



コンシェルジュと葛城市竹ノ内地区の人たちによるまち歩きイベント